

業 種	鉄道
取組分野	社内情報伝達及びコミュニケーションの確保
テ ー マ	現業職員の自発的な安全活動の支援
取組の狙い	現業職員が自由に安全活動を行える環境整備を整えることによって、自発的な安全性向上の取組の支援を行い、現場職員の更なる安全意識の向上を図る。
具体的内容	<p>1. 東武鉄道では、①駅業務の一部、②鉄道車両の保守業務の一部、③線路施設・電気施設の保守業務をそれぞれ別会社に委託している。そこで、東武鉄道とこれら会社間において、輸送の安全確保や異常時の対応等の連携を強化することを目的とし、職種横断的に連携・協力体制の構築を図るため、平成20年4月より現業職員が自発的に活動を行う組織として、営業エリア毎に「現業連絡会」が設立された。</p> <p>2. このうちの1つである野田線地区現業連絡会では、それぞれの業務が他の業務とどのように関わっているのかを知り、他業務との繋がりを考えることが安全確保のために重要であると考え、職員が他職種の業務を理解するために、駅、乗務員、車両保守、線路保守、電気保守、清掃業務の作業風景の映像化を行った。</p> <p>映像化に際しては、シナリオの作成、撮影、編集を現業職員自ら行うことにより、職員の参加意欲が高まるとともに、業務担当者の目線を生かした映像とすることができた。</p> <p>3. 作成したDVDは、教材として野田線地区現業連絡会の各職場における教育等で活用している。</p> <p>4. 社長はじめ役員、および本社社員、現業社員、グループ会社社員あわせて512名が参加した「東武CSフォーラム2010」においても、現業における「気付き」の取組事例として紹介され、CS活動をとおして、気付きの感度を高めることの重要性は「CS」も「安全」も共通であることの認識を深めることができた。</p> <p>5. 沿線小学校の校外学習を野田線南栗橋車両管区七光台支所で実施した際、このDVDを活用し東武鉄道の安全確保に向けた取組を説明したところ、参加者から好評を得て、小学校の文化祭でも紹介された。</p>



取組の効果	<p>1. 現業職員自らが企画・実施したDVDを作成することにより、列車の安全運行に自分たちがどのように関わっているか、自分たちの仕事が他部門の人の目にはどのように映っているかを、改めて認識するとともに、自らの仕事を見つめ直すことにより、安全意識の向上を図ることができた。また、自分たちの業務と平行して、他職種の人たちがどのような業務を行っているか理解を深めることにより、相手の立場に立った行動に結びつくことが期待される。</p> <p>2. 自らが発案した取組が実現されたことにより、更なる現業職員の安全活動に関するモチベーション向上につながることを期待される。</p>
事業者名	東武鉄道株式会社 鉄道事業本部安全推進部 (連絡先：03-5962-2295)